

パネル展示 登戸研究所の歴史と

地域の歴史を振り返り、未来を見据える

2022年8月8日(月)~16日(火)

多摩区役所 1 階アトリウム

◆ 登戸研究所資料館の協力で、今年3月26日まで資料館企画展で展示された「参謀本部と登戸研究所による対中国謀略」を初めて館外で展示します。

◆ 戦争中、秘密にされた登戸研究所を支えていたのは
地元の若者たち

2020年に登戸に住む会津さんが、本土決戦用の手りゅう弾と思われる手のひらサイズの鋳物を登戸研究所で造っていたことが、タウンニュース（2020年9月25日）で初めて語られました。

下の写真は、登戸国民学校(現登戸小学校)の男子児童 51 人が勤労動員され登戸研究所で働いていたときのもの

